

社 会 科

社会科の3つのポリシー

- ① ディプロマポリシー
(どのような力を身に付けさせたいか)
→社会の構成者として必要な資質の基礎
- ② カリキュラムポリシー
(どのような教育を実施しているか)
→中学…中1・2(地理・歴史)・中3(公民・歴史)
高校…地歴公民の細分化
- ③ アドミッションポリシー
(受験生にどのような力を求めるのか)
→思考や考察するための基礎知識と文章力

入試問題の構成と特徴

サレジオ学院中学校

番号

氏名

評点

/ 75

サレジオ学院中学校

番号

氏名

評点

/ 75

1	問1	A		B		C	
		D		E		F	
		G		H		I	
		J					
問2		問3		問4			
問5		問6		問7			
問8		問9		問10			
問11		問12		問13			
問14		問15					

2	問1		問2		問3	
	問4		問5		問6	問7
	問8		問9		問10	
	問11	(1)		(2)		問12
	問13		問14			
	問15	A		B		C
	問16					
	問17					

3	問 1		問 2		問 3	
	問 4		問 5		問 6	
	問 7		問 8		問 9	
	問10		問11		問12	
	問13		問14		問15	
	問16					

1	問1		問2	(1)		(2)		問3	
	問4			問5					
	問6		問7	→	→	→	問8		
	問9		問10						
	問11								
	問12	a		b		問13			
	問14	→	→	→	問15				

2	問1	問2	問3	問4
問5	問6	(1)	(2)	問7
問8	(理由)			
問9	問10	(1)	(2)	m 問11
問12	問13			

3	問1		問2												
	問3		問4	A		B		C		D		問5		問6	
	問7		問8					問9				問10			
	問11		問12					問13	万人						
	問14														

氏名	サンプル
----	------

受験番号	
------	--

得点	※
----	---

問 1		問 2		問 3		問 4	
問 5		問 6		問 7		問 8	
問 9							
問10		問11		問12		問13	
問15		問16		問17		問18	
問19		問20		問21			
問22							
問23		問24		問25		問26	
問28							
問29		問30		問31			
問32		問33		問34		問35	
問36							
問37		問38		問39			

※

※

※

氏名	サンプル
----	------

受験番号	
------	--

得点	※
----	---

問 1		問 2		問 3		問 4	
問 5		問 6		問 7		問 8	
問 9							
問10		問11		問12		問13	
問15		問16		問17		問18	
問19		問20		問21			
問22							
問23		問24		問25		問26	
問28							
問29		問30		問31			
問32		問33		問34		問35	
問36							
問37		問38		問39			

※

※

※

① 問題の構成
地理・歴史・公民の三分野
75点満点

② 問題の特徴

- 三分野統合で大問1題
- 35問程度
- 各分野での記述問題

サンプル問題

厩戸皇子(聖徳太子)は、607年に①法隆寺を建て、603年に人材登用のため(1)を、604年に②十七条憲法などのルール作りも行った。

問1 法隆寺が建てられている都道府県で栽培が盛んな農産物として、
適当なものを、次のア～エから一つ選んで、記号で答えなさい。

ア みかん イ ぶどう ウ かき エ りんご

問2 文中の(1)に適する語句を、漢字で答えなさい。

問3 十七条憲法と日本国憲法の違いを、簡潔に述べなさい。

(解答)

問1→地理分野 ウ

問2→歴史分野 冠位十二階

問3→公民分野 十七条憲法は役人の心構えを表し、日本国憲法は国家の根本法である。

採点基準

① 一答問題

- ・指定がある場合はそれに従う
(漢字・カタカナ・ひらがな…)

② 記述問題

- ・途中点あり
- ・誤字脱字は減点
- ・小学6年生に相応しい文章

ワンポイントアドバイス

- ① 全体→時間配分に気を付ける
解答用紙からイメージを！
- ② 三分野とも、用語などは漢字で覚える！
- ③ 自分の考えを書いて説明する！
→長文でなくて良い。漢字のチェック。
- ④ 学校や塾で習った「○○」



現実の社会では「××」につながる
→家庭での会話を大切にしてください